京城新報

●新聞料 ▲一ヶ月前金 ▲三ヶ月前金 ▲六ヶ月前金 ▲一ヶ年前金 ▲郵税一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰暦 三月廿六日
發行兼編輯人 印刷人 秋山忠三郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番

韓國に働きたる人物 其十五
竹内綱と尾崎三良(上)

▲京釜鐵道敷設の頃は屢々韓國に往來して京城仁川釜山等の花柳界を騒がせ三面記事の問題となつた竹内綱と尾崎三良は今や韓國在留者には忘れられて仕舞つたが、渠等が韓國經營者として數ふべき仲間である、

▲竹内綱と云へば直に林有造が聯想される此二人者は自由黨の立志社時代から、板垣伯の兵糧方であり、智嚢であると言はれたことも思ひ出さる、殊に竹内綱は板垣伯の顧問だと許される丈け智者である、林有造は陣頭に起つ勇將で、竹内綱は帷幄の參謀であるとして、世間から高く買はれて、從つて怖がられたものである、成程立志社當時に於ては、一般智識の程度低くかつたから、或は其中の物識りとして巾が利いたかも知れぬ、

▲渠等も亂世的の人物で、ルーソーの民約論を鵜呑にした時代には適したかも知れぬが、太平の世となり、秩序が立つては虎か化して鼠となる譬の如く、今では時勢後れとして擯斥さるゝ樣になつた、

▲併し竹内綱は林有造よりも智慧は優つて居る、政治方面では最早役にたゝぬが、實業界の方面では尚は未だ存在を認められて居る、由來渠は舊式的理財に長けて居る、渠が立志社時代より自由黨最初の頃まで政治界に巾を利かしたのも黨の賄方であつたからである、

▲竹内綱が韓國に關係して、一仕事しようとしたのは、京釜鐵道の時ばかりではない後藤伯の韓國經營計畫にも參加して、帷幄の謀士として用ひられたものである、彼の〇〇を奉じ密使を送つた時も渠も窃かに京城に乘り込だものである、渠が當時の胸中には、夫が成就の上は巨萬の富を得べき計畫があつた、當て事と越中褌で、見事に外れたのである、此時に於ける失望者は渠のみに非らず、幾多の人士が失望されたのである、

▲後藤伯の計畫を初め、其他帝國の志士が企てたる韓國經營は明治政府の爲に破壞されたるもの多し、今にして思ふ、若しも明治政府が、ピット時代の英國政府の如く多少の援助を與へしならば、韓國は今に於て保護統治とか、合併とか騒ぐに及ばぬのである、

▲其時代に於ける明治政府の樞機を握つしは今の伊藤公である、明治政府の歷史より伊藤博文を除く事の出來ざる如く、明治政府の對韓策も伊藤公を除いて論ずる能はずと云ふは強ち牽强附會のことでなかろうと思ふ、

▲談は枝葉に渉つたが、偖て竹内は一見着實らしき爺であるが、其實山氣充溢覇氣滿々、故に板垣伯よりも後藤伯と意氣投合したのである、然るに多く板垣伯に附隨したるは、正直なる板垣伯を利用せんとしたる爲である、後藤伯は到底渠に利用せられず之れ性格の異れる板垣伯に多く附隨したる所以である、

▲故に板垣伯が勢力減退し、政界に到底事の爲すべからざるを看破するや、渠は直に板垣伯を捨てたのである、偖板垣伯を捨てゝ、獨自にて政界に翱翔する能はず、勢ひ自分も政界に告別せざるを得ず、之れ渠が政界を去りて實業界に入りたる原因である

▲京釜鐵道會社の創立には、渠も韓國通の一人として大江卓、尾崎三良、日下義雄と共に盡瘁したのである、京釜鐵道會社の首腦として人も許し、自分も其積りで働いたのである、渠は政界に多年奔走したる割合に頭は中々緻密で牙籌に精なることは何人も驚たのである、渠に同行して通譯したる某が、其零砕なる財にも甚だ吝なるに驚いたと云ふて居る、

▲が併し女に對しては隨分鈍ひ厄介な爺である、此點は老人に似合はず至る所々に浮名を流した、該は伊藤公のそれによく似て居る、

▲此道にかけては尾崎三良も强の者であるが兩人とも金錢にかけると非常の吝嗇で何處の料理屋でも、藝妓でも鼹花ものであつた、其僻大の助倍なるより無暗に目尻を下げて言ひ寄るのであるが、何時も肱鐵砲を食ふので有名であつた、始めは京釜鐵道のれ重役様と云ふので、引掛つた藝妓もあつたが、仕舞には寄り付かなくなつた、渠等兩人は、不止得宿屋の飯盛、洋賣婦抔によりて用を辨ずるの外仕方がなくなつたのである、

●哈爾賓の木材

哈爾賓以北に良材を産出する大森林ありて若し之を南滿に輸出するときは日本木材の一大强敵なるべしとは近々世人の唱ふる處なるが今確聞する處に據れば石は哈爾賓を距ること百五拾哩の石頭河子附近の山林にて其産額の豐饒なること鴨綠江の長白山脈と伯仲の間に在り戰爭以前露國の全盛時代には旅順大連を始め滿洲一帶に建築工事の盛に起りたる爲め該森林は大有望を以て目せられ露人は數個所の製材所を設け盛に之を經營せしも露人の南滿撤退と共に此事業に大頓挫を來たし一時工場を銀行に質入するなど非常の悲況に沈淪せしが近來南北滿洲處々に工事の開始せらるゝを以て頗に景氣を恢復し目下盛に製材に着手し居れり木材は疎軟にして寒暑の伸縮の度烈しくして固より我松杉材に比すべきにあらねど滿洲的建築には充分なり目下東清鐵道は該製材場より寬城子迄の運賃を十四噸積み六十圓に割引して其事業の發展に資せり之を南滿鐵道が長春より大連迄四百三十九哩間を特別割引一噸七圓二十四錢即ち一噸一哩一錢六厘五毛に比すれば非常の低價なりと謂ふべし東清鐵道が斯くも運賃の大割引を爲すに加へて山元直段は頗る低廉なるを以て現在の如き南滿鐵道の運賃を以てしても之を鐵嶺邊迄輸入して充分引合ふ由若し滿鐵が一層運賃を割引するに於ては大連營口に於ても優に日本品と競爭なし得るに至るべし

●群山沖昨今の漁況

竹島の鯛漁は來月四五日頃よりならでは初まらず蝟島の石首漁況は目下盛んにて六百餘隻の漁船は蝟島附近に集合し居る由左に目下の漁況を報せん

▲漁船七百隻　目下蝟島附近に出漁せる本邦漁船は約六百隻韓人漁船約百隻合計七百隻位にて多くはグチ、カレイ、スズキ等の漁業に從事し居り何れも相當の漁獲あるも鯛漁は未だ其期に至らず

▲最近の魚價　二十二日群山市場に於ける卸相場はグチ一尾五錢カレイ二十錢フグ五錢スズキ六十錢ニベ八十錢位にて尤も數日前迄はカレイ一尾五六十錢スズキ、ニベ何れも一圓以上なりき魚價は今後日毎に下落の一方にてカレイの如き十日を出でずして一尾十錢以下に下るべくスズキ、ニベ又二三十錢の相場となるべし

▲一日水揚高　昨今に於る群山魚市場(海産會社)の水揚高は一日三百圓乃至三百五十圓にて未だ多額と云はざるも旬日を出ですして五六百圓乃至七八百圓の水揚高に上るべしと當業者は語れり

▲蝟島出稼人　漁夫相手の雜貨酒米商飲食店等を營むものは目下廿名以上の由にて何れも相當の利益あるやに聞及べり

●北韓沿海の帆立貝

朝鮮海水産組合の調査に係る帆立貝分布區域は江原道長箭灣と靈湖里沖合及び咸鏡道遮湖、洋島、羅津灣方面に生棲し海深七尋より二十五六尋に至る海底沙質の所に棲息す其採捕の状況は韓人は夏季製造に不適の候を除くの外春秋兩季に於ては叉網若くは延繩を以て之を採捕し我が潜水器漁業者は本業たる海鼠及び鮑の捕獲の閑散なる時季を利用し之が副業として從事せり尤とも江原道に於ては韓人特殊の漁法なきも而かも漁獲高多きは其數殷に二千五百個位に達し漁獲物を煮乾とし其介柱清國輸出とせり又た鮮食として採捕地附近の韓人に需用せられ介殼は大なるものは韓人の食用鍋として賞用せり(備考板屋貝も帆立貝と同區域に棲息すと云ふ)

●洛東江の航運出願

釜山絕影島洲鼻在住兵庫縣人田中若太郎より滊船大野浦丸(二十八噸)を以て洛東江の航運業開始に關し去る二十二日釜山理事廳へ認可出願を爲せり航運の目的は旅客を主とし小荷物の運搬を爲すにありて營業所を洛東江(舊三浪津)に置き航運區域は下端より巖弓、僞浦、洛東を經て密陽に至るものなりと

●賊千兩を強奪す

四月十五日高山憲兵分遣所を距る北方約二里半北面水仙里柳德潤方に六名の賊來襲金品を強奪せんとせしも其目的を遂せず炊飯喫食の後西方に逃走せるを探知せる所員は直に出張追蹤大井里に到り捜索せしに韓敬順方に來り突然火繩銃を携へ闖入金品の強請を爲したるも應せざりしとて同人を縛し刀を以て擬し前額骨膜に達する重傷を負はせ韓貨千兩を強奪し逃走せり

●三月中 仁川三銀行金融統計
(仁川日本人商業會議所調查)

諸手形取扱高

種目	仕向高	被仕向高
送金爲替手形	一、一三五、一〇九圓	五五一、九五一圓
荷爲替手形	一三〇、四三〇	九二、三四四
他所割引手形 代金取立手形	二〇八、五四五	二五六、〇八七

預金取扱高 (圓)

種目	預入高	拂戻高	月末現在高
公金預金	三〇、八六五	二七二、五五七	一、九三八、七四八
定期預金	一五六、八〇〇	一三、七五〇	九二、七四八
當座預金	三、〇四四、一八八	三、一二五、一〇五	七四九、八〇五
小口當座預金	八九、三九九	一〇四、九七七	二一一、六一三
其他諸預金	二一、八四三	三一、二四三	九一、八五一
計	三、一九九、一五五	三、七〇七、六三一	三、一四四、八四五

貸金取扱高 (圓)

種目	貸出高	入金高	月末現在高
貸付金	二八四、九九二	三三〇、六五七	一、二〇六、二一三
當座貸付金	一、二〇四、三三三	一、一三四、一四五	五六六、三六三
割引手形	九二九、二一〇	九一三、二二三	一、二七二、四〇三
荷爲替	一三〇、四三〇	二〇四、一八八	七三〇、八八九
計	二、六四八、九八五	二、五七二、一七三	三、七七五、八七六

金利

種目	最高	最低	普通
貸付日歩	三錢五厘	二錢九厘	三錢一錢
割引日歩	三錢八厘	三錢一厘	三錢四厘
當座			

荷爲替日歩及送金手數料

種目	清 最高	清 最低	韓 普通	韓 最高	日本 最低	日本 普通
荷爲替日歩(錢)	五、〇	四、〇	四、五	五、〇	四、〇	四、五
普通送金手數料	一七、五	一〇、〇	一〇、〇	一三、五	九、〇	一〇、〇
電信送金手數料	三、五	三、五	一五、〇	三〇、〇	一七、五	一七、五

記

(一)米穀に對する荷爲替取扱高 二〇一、六五〇圓
(二)同 擔保貸出高 一七一、一四〇
(三)同 割引手形高 四三、三二一
(四)有價證券擔保貸出月末殘高 二四三、三八〇

讀者文壇

●韓人観
商人

貴紙の安懸ならに、韓國民の程度にて封建制度を布くも可なり、とあつたが之れは甚だ面白い説である、僕も地方に在住して居る時斯く思つたことがある、

日本に於ける進歩せる法律規則を當嵌め樣とするのは無理である、折角善政を施さんとしても、夫れを受ける智識の程度低きを以て、之を解せざるのみならず却て怨むのである、蠻法でも構はぬから複雜ならずして簡明なる制度を喜ぶのである、

韓國民の如き知識低度、惡狡猾にして表裏反覆常ならざる人民に對して之を統治するに尤も必要なるは威壓である、封建制度を布き切捨御免の如き苛酷なる壓迫を加へたならば、却て意外の好結果を見るであらうと思ふ、

心底から日本に心服させるには、一度はドウしても大威壓を加へて震慄せしめざる可らず、僕等が渠等に對する商取引の實驗に徵しても明である、一時の敵は百歳の良友と稱するの如く、韓人は一度喧嘩して痛く懲らした上でなければ和することの出來ない人間である、

併し一度痛棒を加へた後は、先とは打て變り好意を表し來ることは不思議である、渠等は恩を施して感ずるものにあらず、謝恩に健忘なることは比類なき人民である、然るを當局者は無理に恩に感せしめむとす、當局の迂濶なる此解り切りたる無駄骨に離齪たるは僕等の諒解に苦しむ所である、

韓人の性格を能く知るものは何人と雖も之に異論のあるべき筈なし、然らば結論は分明也、封建制度の如き政治を施し、日本の士風を以て鷄林八道に風靡せば、其效果或は其性格を一變せしめ、純良なる國民となすことを得ん乎、

讀者歌壇
投書歡迎

四時の月　春の舍

にほひゆかしき花の色
なかめあかぬや月の影
月と花とは春なれや

ところもひろき青葉山
風もやどすや月の影
月と青葉は夏なれや

ふりすてがたき虫の聲
昔しのぶや月の影
月と虫とは秋なれや

ふましくれしき落葉かな
ひかりさゆるや月の影
月と落葉は冬なれや

夕　八重吉

若葉に早き風鈴も
洩るゝ音締に夏近し
祇園離れし夕闇に
垣間見のひと思ふ行春

川

花吹雪傘重からぬ
振袖の船に乗る今
緊の幕吹いて見ゆ
小鼓の紐や紅

花

紅鹿の子今朝散りて
花纐纈灯に映つる
金屏も御殿の春
銀燭に琴の音冴へぬ

小説
新不如帰 (三)
篠原嶺葉著

「いや不思議な所で不思議な人に逢ふもんだ、それではお前さんは父の従卒であつたのか。私は其頃士官學校に入つて居たからお前さんに逢つた事は無いが、なんでも岸野とか岸上とか云ふ従卒が能く世話をして下れると、戰地から來る父の書面に書添へてあつた事を幽に記臆て居る。して見ると猶且お前の事を書いたんだらう。」

「では、お手紙にまで私の事を書いて下はりましたか。」

感極まつて浪五郎はます／＼泣き悲しむのであつた。

竈に西脇義祐は、家族の者へも其の行先を告げずして旅行の途に就いたが、突然この須磨の浦邊に姿を現はしたのである。



見れば昨日までも蓄へて居つた美しい髭を剃り落し、軍人には不釣合と云はるゝほど白い顔を、眞個此邊に棲む漁人と見紛ふまで赫黑く塗つて居る、いや顔ばかりぢや無い、手も足も鹽風に曝した自然の色に化して居る。

浪五郎が亡き父の昔を語つて、懷舊の情に堪へず、筋骨立つた掌に涙を拭ふ樣子を見て、

「ヲイ岸野、亡くなつた父の事を其れ程に思ふて下れる親切は嬉しいが、もう今日となつて何程嘆いた所が悲んだ所が追付ないお話だ、それ程父を思ふて下れる親切があるなら、些とお前に頼みがあるんだが聞いて下れまいか。」

「私のやうな者が間に合ますなら、甚麽事でも有仰つて下さりませ、少將閣下から受けました御恩返しを爲ると思やあ、火の中水の中でも何の事はございません何は左もあれ此處は門口、幸ひ今日は誰も居まへんよつて、汚穢しうはございますけど、どうぞ内へお入り下さい。」

「では、暫く邪魔を爲やうか。」

云ひつゝ四邊に氣を配つて其まゝ苫屋の中に入つた。

「旦那樣は、這麽汚ない家は始めてでございませう、これでも我々仲間ではまだ立派な中でございます、まあどうぞ其通り下さいませ。」

云はれて、西脇は家の中をグルリと見回たが、成程中は六疊ばかりの一室に蓆を敷いて、其室にはぼろ／＼した衣物や、網の結きかけたのが不規律く擴げてある。其次は三疊の薦敷に隣つて大きな圍爐が設けて、それには樽の燃滓しが算を亂し、自在鈎には眞黑に燻つた湯鑵がかゝつて居る。そして入口の土間には榾柮が積み重ねて、其隣に三つばかり大きな嵜が列べられ、魚の臭氣が鼻を衝くばかり浮動して居る。

「いや上に通るまでの事はない、此處で澤山だ、此處で暫く邪魔を爲やう。」と、圍爐に面した蓆の上に腰を下した。

浪五郎は面目無げな顔色で、

「お通り下さいと云つた所で、漁人の家なんといふものは皆んな此通りの荒屋で、座敷なんかは砂だらけになつて居ますからなどうぞまあ御辛抱願ひます。」

「なに那樣遠慮が要るものか、那樣事は奈何でも宜いが、私の頼みを一つ聞いて下れ。」

「へい、へい、甚麽事でも承きます、どうぞ遠慮なく有仰つて下さい。」

「では、もう少し傍に寄つて下れんか。」

「へい、へい宜しうございます。」

浪五郎は、西脇と膝と膝とが衝合ふまで傍に寄つた。如何なる秘密の話があるであら

京城新報

三大政策と其結論

吾人は我帝國の歷史に於て國家の最大事件たりし三大海外政策に就て其概要を說いて其結論を得んと欲す。

蓋し三大政策とは何ぞや謂ふ曰く神功皇后の三韓征伐の主要なる目的は我帝國の殖民地たる任那を侵略せる新羅に對する國力發展に在り、該征伐の目的は失敗に歸し、新羅は遂に任那を侵略し、後に至りて百濟及日本の同盟は實に新羅に對する國防軍なりき、百濟同盟は應新羅を苦めたりしも新羅は遂に大陸の權力に賴りて克く之を守り新羅及唐の同盟軍によりて帝國の第一期海外政策は全然失敗に終れり、是其一也。

豐太閤の征韓則ち七年に亘り、兵力三十萬を掛せり、豐臣氏英雄の材を以て海內の勇將を統合し、韓國の大半我領有に歸したるも明の大軍に該戰役は效果無くして了りぬ、蓋し此戰鬪元寇の侵入に對し、且つ韓半島王朝の誘導により大陸の權力帝國を侵かすを以て一擧半島の國土を領有し併せて大陸の權力を防がんとせり、是其二也。

明治大帝の日淸日露戰役は國際の變なくして近世に及べり、淸帝國邦の禮を把持し、兵力を利用して半島を威壓せんとするに至りて我帝國は淸國と干戈を交へて之を防がし得たり、日淸の戰役則是なり、次いで露國南滿洲を侵略し、將さに半島の國土を侵略せんとするに至り我帝國は露國と交戰し、克く其强大を驅逐し、半島の國防を完ふするを得たり、是則日露戰役なり、是れ其三也。

以上の三大事件は我帝國の海外政治中尤も重大なる時期を占め、我國交事變中尤も主要なる部分を占め、帝國の保全、防衛より國力發展に關して殆んど此三大政策と其關係無きはなし、今や上下三千年にして漸く其結論を得んとしつゝあるは則ち韓國の保護是也。

吾人の祖先より今日に至るまで國家の勞力は擧げて今日の保護政策に至りて僅かに其結論を得たるのみ、何ぞ夫れ我國力の進張悠々たるや、思ふて今の統監政治に及べは吾人は三千年間の鮮血、勞力、慘禍、忍耐に對して尙ほ其結果の小にして微弱なるを自ら惜まざらんはあらず。

殖民地の教育

在留帝國民の增加するに從て、教育機關の整備を感ずると共に、殖民地としての教育方法を研究するの必要を感ずるに至れり、殖民國と殖民地とは其狀態を異にし、住民が爲す所の事業も勢ひ變ぜるを得ず、其教育方法の如何は殖民地の盛衰に多大の影響あるは素より其所なり、

帝國主義の發展と共に、殖民地經營は現下字內の大問題にして、從て殖民に關する知識を要し、之が爲に各國に於ても大學に殖民講座を設くるに至り、我帝國に於ても較近之が設置の必要あるに至れり、

大勢斯の如し、殖民教育は啻に大學の講座を以て滿足すべきにあらず、殖民地に於ける小中學校の教育も殖民地に適當なる科目を置き、恰當の人物を養成すべく勉めざる可らず、

元來殖民地には、祖國の如く舊慣固陋の制裁なければ、新規の方法を實行するに大なる便宜を有するなり。而して現今我祖國の教育を見るに、總て形式的に流れ、其弊害や恐るべきものあり、當局者も既に其弊を認めて之を救はむとして汲々たるも其案たるや亦た形式的なり、惟ふに昔時の我武士的教育は專ら意志堅固を練磨する所謂精神的教育なりし爲め、有爲の人物輩出したれども、現今の教育は形式にのみ流れ之に依りて教育せらるゝものは等しく形式的人物のみ、世は擧て平凡罪調たらむとす、斯る教育方法を其儘殖民地に移し來りて、在留帝國民の子弟を教育するは決して賢きにあらざるなり、須らく適當の教育方法を研究せざる可らず、修身書の如きも菅原の道眞や、楠公父子の如き消極的の人物のみを擧げず、義經の勇猛義膽を說き、秀吉の大志を語り、山田長政の冒險を傳へ其他奈翁、華盛頓、林哥倫、クライブ等の積極的人物の傳記によりて熱誠なる人物を養成せざる可らず、生活の爲に學問すると云ふ如き感は起さしむ可らず、官吏たり會社員たらむが爲に學問するが如き心得のものは官吏となり會社員となるも、器械的働きの外爲し得ざるなり、眞に帝國の爲に盡くし帝國をして宇內に冠たらしむる爲に其身を貢獻するが如き高潔偉大なる品性を養成せざる可らず、殖民地の子弟にして斯る品性の養成せらるゝや、殖民地の繁榮、帝國の發展期して待つべきのみ、

東京電報

▲**皇后陛下還啓** 沼津に御避寒中の皇后陛下には今日御還啓在らせられたり

▲**攝河泉大演習** 本年秋期に擧行せらるゝ攝河泉大演習の編成は第九第十六の二個師團を東軍とし第十一第四の二個師團に深山(か)由良、福浦の重砲大隊を西軍とす

▲**昨年米麥實收額** 昨四十年分米麥實收額發表せらる米實收額は四千九百五萬二千六十五石にして前年に比し五步九厘平年に比し一割一步八厘の增收にて麥實收額は二千二百十六萬七千四百八十六石にして前年に比し八步八厘平年に比し一割三步六厘の增收なり

(以上二十四日發)

各地電報

▲**暴徒挾擊** 騎兵隊、警察隊及び第二巡査隊は本日光州郡馬地面に集團中の暴徒約五十名を三面より挾擊して潰走せしめ今尙追擊中にして此の戰鬪に於て暴徒十名を殪し銃三刀一其の他彈丸雜品等若干を鹵獲せり(二十四日光州發)

雜報

●**李の單獨訪問** 總理大臣李完用氏は昨二十五日單獨にて伊藤統監を訪問し密談數刻に亘れり因に李總理は昨夏宋秉畯を通じて某公爵より負ひたる債務を今回返濟せんとして目下其手續中なりと云ふ

●**會計主任會議** 各理事廳會計主任會議は昨日正午より統監府に於て開會し本年度會計豫算の打合せをなし兒玉會計課長の訓示的演說ありたり

●**韓國高等女學校** 本年新設せらるゝ韓國高等女學校は光化門通信管理局に隣接せる元英語學校の建物を使用する事となり教師は京都高等女學校に在勤せし赤穗千春女史學監として任命され尙技藝科教師として東京なる女子職業學校に教師たりし某女史及び實踐女學校に刺繡教師たりし某女史任命せらるゝ事となり何れも近々來任する由尙韓人教師は尹孝定氏の女にして目下秋月公使に隨ひ白耳義に在る安平貞女史任命せらるゝ筈にて他に韓人通譯女子も人選中なりと云ふ而して同校に本年募集する生徒は本科一年豫科一年及び幼稚園の三組なりと

●**强制勞働と韓民** 歐洲諸國には無職遊惰の民に勞働の習慣を作らしめ其の貯蓄心を涵養するため强制勞働の制度あり我が新領土たる臺灣に於ても臺東一地方に經營せる拓殖事業を利用して土人の無賴漢に强制的に勞役に從事せしめつゝあるが內部は右の制度を韓國に施設せば或は良好なる結果を得んとの意見にて目下委員を擧げ各國の制度及び我が臺灣に於ける施設の狀態等を調査中なり

●**韓巡査へ夜食料下賜** 曩に皇帝及び太皇帝より韓人巡査へ夜食料下賜せられ一夜金五錢五厘宛給與しつゝありしが二十四日より左記の金額御下賜相成たるに付當直の韓巡査に限り一夜一人金十錢宛給與することゝなれりと云ふ

一、皇帝より六十三圓、一、太皇帝より八十圓

●**共立新聞は果して桑港にて印刷するか** 北米の共立協會と云へば直ちに一部の排日者流が其の淺薄生嚙りの自由主義を唱ひて陰に陽に我が保護政策に妨害を與ひんとする者なることは玆に記する迄も無きことなるが彼等の機關新聞として發行する共立新聞なる者は全部諺文を以て記し最も露骨に大膽に激越の辭を臚列して人心を衝動しつゝあるが聞く處に依れば右共立新聞は當京城某所にて竊かに印刷しつゝあり或は桑港にて發行する者と同名異体の者たるやも未だ知る可らざれど兎に角桑港に於て發行する者に擬して竊かに其の筋の眼を瞞着せんとするものゝ如き形跡ありと這は素より直ちに信ず可らずと雖も斯かる事は尋常茶飯事とも思はぬ韓人のこと故其の筋の手加減の鈍きに乘じ或は斯かる橫着の擧に出づる事もあらんかと玆に記して其の筋の注意を促す

●**日韓同志會の一事業** 韓國を扶植し其文物を開發せんがため創立されたる日韓同志會は昨秋同會幹事中村八太郞氏をして韓國を實地視察せしめたるが其の氣候風土は最も蠶業に適當なるも從來の蠶桑は種類頗る劣等にして收穫甚だ少なく到底發達の見込なきを以て先づ其種類の改良を謀るは刻下の急務となし、多額の費用を投じて之れが實行を期し其の種苗の頒布方に關し曩に勸業模範場長本田博士に依賴したるが四月中旬同會の送れる桑苗一萬本、蠶種三十五枚は直に同博士の手を經て北は元山平壤、南は木浦、群山等各地篤志者に其の頒布を了したりと

●**任內相の家劵** 宋秉畯の爲に第一銀行へ見返りとして入れられありたる任善準の家劵は今回黑田某の盡力により任內相の手へ取戾されたる由なり

●**經濟協會例會** 同會にては會員小田柿捨二郞氏の送別を兼ね四月例會を昨日午後六時より日本人俱樂部に於て開催せり出席者は京仁會員中の重立ちたる人々五十餘名にして市原幹事長其他諸氏の小田柿氏に對する送別の辭あり亦小田柿氏は留別の辭として有益にして興味ある一場の談話を試みられ了つて別席に移りて歡談時を移し十一時を以て散會したり尙詳細は明日の紙上に於て報道すべし

●**暴徒討伐情報**(軍司令部着)

△慶尙南道河東北方約二里半の地に於て三名の賊銃器徵集中の報を得て河東守備隊より出したる兵卒二名は巡査二名と共に四月十五日之を討ち一を殪す

△全羅北道鎭安守備隊より出したる下士以下十名は晝夜偵察の後十七日任實を襲ひたる約八十名の賊を二十一日任實東北方約三里の地に於て急襲し其二十三を殪し多數を傷く鹵獲品小銃二十二其他若干あり

△忠淸北道淸州守備隊より出たる變裝隊長以下八名は二十日淸州東南方約四里半の地に於て約三十の賊に遭遇し其六を殪し十余名を傷く又同變裝隊より出したる二名の連絡兵は翌二十一日淸州東南約四里の地に於て約百名の賊に遭遇し巧に蔭蔽して其接近を待ちて射擊し其七を殪し十余名を傷く

△全州守騎兵中隊長以下十五名は二十二日羅州の西方五千米突の地に於て賊卅を攻擊し其六を殪し二を捕ふ

△光州守備騎兵中隊より出せる上等兵以下五名は前に出したる下士以下五名と協力して二十二日咸平東北二里半に於て四十の賊を攻擊し十六名を殪し賊魁一を捕ふ

△忠州東方堤川守備隊より派遣したる兵卒三名は同地附近に於て八名の賊を襲ひ三名を捕ふ

△慶州守備隊より派遣したる特務曹長以下十三名は十七日同地西南方玉山附近に於て約五十の賊を攻擊し十一を殪し二十を傷く

●**鹿津洞の激戰** 四月十九日午前十一時四十分長城郡南二面鹿荷洞に賊徒來襲せる趣急報に接し棠山浦憲兵分隊長所丸曹長以下憲兵七名は討伐の目的を以て同地に急行せり一行は沿道村落を搜索しつゝ鹿津洞に至るも賊の形跡なし依て山を越へ同郡月坪に出でんとしたるに賊の展望兵突然我に向て發射せしかば我は直ちに應戰し逃ぐるを追て同所東方松林附近に至り首魁其京老の率ゆる約百五十の賊徒同森林中に集團せるを發見し玆に交戰約一時四十分賊は堤防に據り頑强に抵抗せるも遂に死屍三を殘して光州及羅州方向に潰走せり負傷少くも二十を下らず鹵獲品銃三實包二十發其他雜品多數なり

●**暴徒歸順者累計** 四月二拾日迄に各道警察署及同分署に歸順せる暴徒員數一千四百九十四名にして之に郡守宣諭委員に歸順せる四百八十四名及び憲兵隊にて取扱ひたる六百七十名を加ふる時は二千六百四十八名となる而して四月十一日より同二十日に至る十日間に警察に於て取扱ひたる歸順者各道別は左の如し

忠淸南道	四人	慶尙北道	二人
全羅南道	一人	江原道	廿四人
黃海道	二人	咸鏡北道	二十八人
累計	五十三人		

●**靑年會演說會** 廿三日午後八時水典洞靑年會場にて演說會を開く聽衆百餘名九時閉會す辯士金奎植は述べて曰く我黨は四十年來泰平の夢を貪りつゝ今日迄過ぎ來れり然るに輓近日本人が多數入來するを見て失望して爲す處を知らざるか如し日本人が何程來到するも決して不安の心を起すに及ばず諸君は益々耶蘇教を信仰し愛國の心と團結の力を養ひ前途國運の隆盛を圖るべし云々

●**仁川の輸入品狀況** 每年四五の兩月は本邦より建築材料及び雜貨の輸入額は最も夥多を占むる月なるが本年本月に入りて一月以來振はざりし海運界も稍々色めき建築材料及夏物雜貨の輸入額は日を追ふて增加し來るも財界不振の影響を受けて仕入品の減少したるにや仁川商船會社の統計に依りて之れを見れば本月中の輸入貨物の豫想額は僅かに五千五百噸にして之れを先月及び先々月に比すれば少からざる增加を來したりと雖昨年及一昨年の同月の輸入は八千餘噸ありたるに比し頗る振はざるものあり

●**仁川下水溝交涉** 韓國政府に於て仁川市中の下水溝を修整する事は既に報導せる處なるが民團側にては更に其規模を大にして完全なる設備を希望し目下交涉中なりと云ふ

●**高女學校入學式** 民團立高等女學校に於ては既報の如く昨日午前十一時入學式を擧行したり同日列席したるは中村通譯官、長野局、熊谷民團長及び生徒父兄等なりし

●**仁川小學校改築工事** 既報仁川小學校改築工事は昨今既に修繕を了り目下新築に取りかゝれるが來月十三日には全部竣工する筈なるを以つて引續き病院民團の工事に着手すべく目下再設計中なり

●**師團長宿舍打合** 岡崎師團長以下二十餘名の將校は或る用件を帶びて來る五月上旬下仁する筈にて同師團副官陸軍步兵大尉廣瀨季彥同中尉河瀨二郞の兩氏は昨日下仁師團長以下各將校の宿舍に就き民團と打合せするところありたり

●**永登浦役場解散請願** 永登浦總代役場に對し同地居留民間に一種の情弊ありて互に軋轢しつゝあることは曾て報道せし如くなるが右に付三浦理事官は去る二十三日桐原警視と共に同地に出張し永登浦總代存廢等に就て同地矯風側と當局側との意見を徵する爲め居留民一同を駐在所に招集し兩者の意見を聽取せられたるが同地居留民の大部は解散を希望し昨日重立つ者六十五名の連署を以て三浦理事官に宛左の如き請願書を提出したりと云ふ

謹て請願仕候永登浦役場は設立以降四年間の星霜を經爾來公共的事業としては些の事績毫も擧らず經費のみ徒費するの悲境に陷り私共一同は當分永登浦役場を存置するの必要を認めず以て御解散被成下度連署を以て此段奉請願候也

明治四十一年四月廿五日

永登浦居留民

長沼 折平

外六十四名

三浦理事官宛

●**副統監の新義州視察** 北韓地方視察中なる曾禰副統監は一昨日午後二時安東縣へ着し昨日新義州を視察されたり

●**學部大臣歸京** 皇太子修學の模樣を陪觀のため渡日せし李學部大臣は歸途一昨夜は大邱に一泊昨夜は太田に一泊し本日隈谷事務官 魚編輯局長と共に歸京する筈なり

●**日高秘書官の視察** 來京中の日高內大臣秘書官は本日小杉學部事務官の案內にて韓國官立師範學校外國語學校校洞普通學校を視察せり

●**加瀨梧堂氏** 朝鮮タイムスの同氏は今兒の代議士選擧運動準備の爲め往復二十日間の豫定にて昨夜鄕里千葉縣へ向け出發せられたり

●**木原牧師歸朝** 過日來東京にて開會したるメソヂスト教靑年會列席の爲上京中なりし京城メソヂスト教會牧師木原外七氏は此程歸朝されたり

●**軍需品輸送** 本日仁川に入港すべき基隆丸は仁川陸軍運輸部揚軍需品二千個及び軍人便乘者十八名搭乘し居る旨同部に通知ありたりと

●**印刷局員春季運動會** 龍山なる度支部印刷局員は本日午前九時より孔德里大院君の墓地前にて春季運動會を開催する由にて度支部官吏其の他へ招待狀を發せし但し當日雨天なれば中止す而して京城よりの來賓は電車に依り京義線交叉點にて下車するを便とすと

●近事片々

▲**伊藤** 公今次の歸任三大條件を齎らし來れりと韓政客等例に依り張膽明目騷ぎ廻る

▲**完用** 內閣之が爲に壓迫を受け總辭職を爲さんと揣摩臆測せり陰謀團頻に景氣づく

▲**一進** 會も遂に寂滅せんとす一進會內閣の夢も畢の泡沫夢幻とならむ南無阿彌陀佛

▲**未練** 殘りて死切れずと見へ宋秉畯に使を派し內閣組織の計畫を爲すと往生際惡し

▲**總理** 完用伊公歡迎の園遊會を催さんとして公より其無益なるを叱責され面目潰る

▲**伊公** に對して縷々たる完用も存外目先の見へぬ男也振られた女に附纏ふと同一也

▲**宋公** 野田平も此手で今頃萩で腹を立て口惜がり居らむ無實力無節操の徒末路憐也

▲**大坂** 每日涓滴韓國各部次官の月給高く日本大臣年俸と差なし仕事は更に擧らずと

▲**又曰** 次官邸宅の華美を競ひ官舍の飾りにのみ熱心し追々韓人化し來ると罵れり

▲**次官** のみ高給を取り舍宅を飾るに熱心し地方郡守連の俸給不渡と其意を得ぬ痛快

▲**韓國** 現時の狀態は京城のみ天下太平にして地方は沃雲天を掩ひ殆ど亂麻の如き也

▲**如斯** 狀態を糊るは保護統治の名譽にあらず何と此亂脈の目鼻を附るは統監の責也

▲**地方** 良民塗炭の苦痛を救はずんば誰か日本の保護に謳歌せんや統監緊褌一番せよ

▲**伊公** 歸來既に一週抱懷し來れる大策の一端位はもう發表して宜らう余り落付過る

▲**豈夫** 一の抱懷なくして來たのでは有まい若し有なら速に發表して亂麻を斷つべし

▲**英國** 前首相バンナマン氏終に逝去せりと崇高なる道念を有する老政治家惜むべし

▲**偉人** 故グラッドストン氏と共に自由黨に盡碎し等しく高齡を以て政界に奔馳せり

▲**露國** 外交界の老練家シュバローフ氏亦た逝去せり氏は伯林會議に列席せる一人也

▲**土國** 政府佛國との關係を決する爲に特使を歐州列國に派遣せり其結果如何ならむ

▲**北海** 道膽振の木村某は五寸八分の小刀以て大熊と格鬪し之を倒し終に留めを差す

▲**アイ** ノ等之を見てシャモの豪勇に驚き以後大に敬意を拂に至る木村鼻頭高き幾寸

▲**京都** 島原大夫花魁道中を例によりて華かに爲す外人の見物本年は殊に多數なりと

▲**金光** の打掛鼈甲の笄高き木履悠々たる道行外人の目には嘸や美く映せん垂涎三尺

…ソヂスト教傳道部長 基督教三派合

…バー博士は京城內巡回傳道師となれり

△佐伯東(廣島十日市郵便局長) 廿四日仁川より來り浦尾へ

△原養民(平壤鑛業所書記官) 廿四日平壤より來り巴城館へ

開城まで（三）　梅　ま　と

此の地方は初旅であるから眼の達する所は森羅萬象の一點でも見落してはならぬときろ〳〵と四方を眺めて居ると韓人が土を掘つて居る大鍬ともいふべきものに左右に二條の綱をつけ一人が鍬の柄を持ち左右の綱をば一人或は二人が引張つて土を掬ひあげるのをシカモ其の土掬ひが何れも長い煙管を口に咬へて居る所が全く朝鮮式である、ちらほらと松林が見える木の根まで堀つて炭に焼く韓國に此の松林のあるは不思議な感がある

此は見渡す限り一面の水田がある水が堪へて恰も海のやうである排水法を行ふたら麥や米穀の栽培も出來やうにとも思つたが四五人掛りで一杯の土を掬ふやうでは此の廣漠たる田地に排水法を施すなどのことは不可能であらうと諦めた

行くこと數丁にして小河が田地の間を流れて居る田地の中に川砂が山を爲して居る河底が高く堤防が無いのであるから雨が降ると水は遠慮なく田地の上を這ひ流れる其故明日は河で明後日は田地となるので今日の田地が河となることがある田地持も寔に心細いやうであるがソンナ事に一向頓着しない處が韓人式である農業の發達せざる豈怪しむに足らんや人家といつても廣い田畑に二三戸此方に二三戸あるのみで廣い田畑を此の小數のシカモ懶惰なる農民が耕作するのであるから耕耘の行屆かぬも當然である

●水色驛

三間に四間位のトタン葺の周屋があるこれが驛舎であつて二丁隔てゝ舍宅がある此の邊に外に人家とてもなく晝でも追剝が出さうな所である高が向ふに當つて韓人家屋が四五十見ゆるのみであつて日本人は驛員の外此の近くには住居して居らぬやうである

此の驛の發車は十一時四十二分と記されてあるが南の汽車が來ない爲めに停車して五十五分に至つて漸く發車した

高から遠山が起伏して居る其の不毛の所は田畑に若くは薬草の韓人家屋は隣々に點々と見るが甚だ少數である

途中で汽車は進行を停めた機死人でもあつたかと見ると流鐵に水を汲んで居る其所で五分間ばかり停車した

其の停車した附近の軌道の兩側に柳が枝を挿して居る何人のすさみか知らぬが感心な志である

又もや一面の海かとも思はるゝ田地の中に出たチョンガーの語る所によると折々漢江の水が溢れて折角植ゑた稻を台無しにする事がある此も防禦法を講じたならば幾百千町歩の良田が作られるであらうに惜いことだ

●山驛

水色驛と同じやうに廣い野原の中にちよつこん驛舍があつて一丁離れて舍宅がある相も變らず眼に觸るゝものは禿山と田畑とぎの田畑も一面の水田で畑には何やら青い芽を吹いて居る山には折々赤い花を見る

郷導でもあらうか一面の田地はあつても道路と名づくべきものはなく田地の畦畔が悉く道路に應用せられて居る其の縱横自由に歩行れる處は至極便利と言つて宜からうか

● 仁川の火事

昨日正午を過ぐる三十分頃仁川山手町一丁目鱗樓下俗に妾長屋と稱する世昌洋行所持の長屋より出火し遂に同長屋七戸を全燒し尚半燒一戸にて同一時半頃鎭火したり

▲發火の原因　は同地は前にも記したるが如く俗に妾長屋と稱したる所にて同長屋に住する仁川病院の事務員島根縣生れの岩元喬方より出火したるにて其の原因に就ては種々の説あれど發火の場所が同家裏納屋にて同納屋には常に人の住む者なく隨て發火の原因となるべきものあらねば或は放火ならんと云ひ或は韓人勞働者などが竊に其の納屋に入りて麁を喫したる爲め其の火より斯くは大事に至りしならんかと云ひ又同所が恰も鱗樓の二階の窓下に當るを以て右二階より其の火を投げたるものありたるにはあらずやとも云へど發火當時の模樣より察すれば納屋の中より起りたる事故素より斯かる事は無かるべく放火と云ふ説或は眞に近からんか仁川警察にては目下其の原因調査中なり

▲損害價格　出火時刻が日中の事と云ひ且つ幸ひにも東風なりしを以て同長屋全部を全燒したるのみにて他に延燒せざりしは不幸中の幸と謂ふべく若し反對の風向きにてもありたらんには今一段の大事に至れるは必定なりしならん隨て罹災者も家財家具の大部分を運搬したるを以て其の損害は比較的輕少にて建物七千圓其他にて合計八千圓位なるべし

▲消防の盡力　スハ火事と云ふや火に既に鱗樓の下一面に燄かんに紅焔を揚げ居りたれば附近の者は無論日本警察、支那警察、朝鮮消防組、歌舞伎座消防組、奥田精米所消防組等我れ先と驅け附けて必死の働きをなしたるため幸にして他に延燒するを免れたり

▲仁川病院の混雜　仁川病院は恰も出火の場所に程近く且つ風向が同病院に向ひ居りたるを以て萬一を慮り不取敢重症患者外病者一同を幼稚園に避難せしめ手當を加へたるを以て其の混雜一方ならざりしが幸に

同病院は前記消防夫の盡力にて類燒の難を免れたり

●一進會員の醉狂　苟くも文明の思想を標榜して韓國開發の先驅者となり國民の指導者とも目すべき一進會員が酒を鱈腹飲んで他國人と喧嘩をするなどは以ての外の不心得なり時は一昨日午後十時頃西署竹洞四互成成の韓人酒家に一進會員安謙模なる者入り來り大胡坐を搔きながらサモ旨うに例の濁酒を大きなサバリにてグビリ〳〵と遣り主人を捕へては種々詰らなき自慢話を持ち掛け居りし迄は可かりしも醉のダン〳〵廻るに連れて氣が大きくなり果ては傍の見も知らぬ支那人に向つて自分の來歷をさも豪さうに聞かせ始めたりしか支那人の方にては更に朝鮮語が分らず安の話を五月蠅さ許りにあしらひしに安は非常に立腹し此奴チャン〳〵の癖に天下の大政治家の話を聞かぬかソレだから貴樣の國は何時でも世界から馬鹿にされるのだと喚呵を切りしより消人も今は默つて居らず其の言葉は俺の方でいふ言葉だと爰に一場の摑み合ひを始めたりしが結局警官の厄介となり無事に收まりたり

▲仁川支局設置▼

今般仁川濱町壹丁目に支局を設置し左記の社員をして該地方の社務を取扱はしめ候間此段謹告仕候也

通信事務擔任　一橘破翁
營業事務取扱　貫阪彌治平

四月廿五日　京城新報社

▲仁川支局設置▼

●子供の行衛（後報）　四五日前の本欄に於て子供の行衛なる標題の下に西署校洞朱覗金致永なるものが同署林白景の長女眞球女なる者を誘拐せし記事を掲げ置きしが今爰に之が悉しき事柄を聞くを得たるを以て左に報道せんに元來前記の金致永なるものは平素より心根の善からざる惡漢にて常に濡れ手で粟を摑まん事をのみ考へ居るものなるが同人は客年十一月前記眞珠の養母韓姓女が眞珠を伴ひて實家大郎に歸らんとせしに金姓女（眞珠の實母）が客主業なるを以て圖らずも長泊りを爲したるが其の際右の金姓女は韓に向ひ大郎に歸りても面白き事もあらざるべければ暫し爰に尻を落ち付け淫賣でも仕たならば什麼かと勸めしに韓は如何はせんかと考へ之が返事につひ一週間許り泊り居りし處同月廿五日の朝件の眞珠女が同家の庭にて他の兒童等と遊び居りし際突然前記の惡漢金致永が來り甘言もて何れにか拉し去りしかば實母養母共大に驚き其の旨警察署に訴へ出でたるに依り警察署にては早速犯人を搜索し一昨日捕縛したるが其の際金の申し立てには眞は容貌といひ擧動といひ女としては何に申分なく幸ひ

●蕎麥代の催促をして擲られる　旭町一丁目の蕎麥屋藤田竹次郎は客年十二月十三日旭町一丁目元山口組の人力車挽子小林七藏に現金三圓を貸し外に數回に蕎麥代の貸金一圓五六十錢もある處近頃七藏が影も形も見せぬより催促も出來ず日を經る内去る二十二日同町九州旅館の前にて偶然に出會ひしより其の催促をなせしに七藏は却つて怒り多人の中にて恥辱を與へるとは不都合なりとて竹次郎の面部其他を毆打し竹次郎が出血して打ち倒れたる間に逃げ去たりと

●油斷ならぬ奴　長崎市諏訪町の者にて當地の東洋貿易會社京城支店の雇人上田利吉（三十）といふは同支店より鐵路競賣所の金望德に洋酒及び雜貨賣却の委托をなし其の管理者を命ぜられて賣揚代の内より百七十餘圓を着服し又支店長山本傳四郎が個人營業として明治町の玉屋自轉車の賣品自轉車二臺を第十三師團へ貳百四十圓に賣却し帳簿に貳百圓と記入し四十圓を着服し外に自轉車代九十餘圓を瞞着したることを發覺し一昨南署刑事の手に捕へられたり

●一文なしの淫賣買　去る二十四日の夜明治町二丁目の飲食店三絆屋方へ一人の男來りて四十錢ばかりの飲食をなし其仕拂もなさずして今宵は是非とも淫賣婦を仕向けて呉れよと迫り果ては暴言を放てるより三絆屋にては持餘し其旨警察署へ屆出たるを以て巡査出張し取調に及ぶと此の者は明治町二丁目辻リツ方に止宿し受負を業とする田口巳吉（三十）といふ者にて現金の持合もなきも自宅に來れば支拂ふとのこと故其の四十錢を取寄せ支拂はしめ說諭を加へて退出せしめたりと

●藝妓逃走の仕損じ　旭町一丁目の美芳の方の抱藝妓立山ムメは一昨二十四日の夜逃走を企て既に衣類なども持ち出し去る處に潛み居るを早くも氣付かれて取押へられたり

●民團員の山遊び　京城居留民團吏員及び民會議員一同は昨日午後一時より南山に於て山遊びを催せり

●日本橋衛生組合親睦會　本日午後一時より日本橋（本町二丁目際町）衛生組合にては總會を兼ね親睦會を南山倭城台に於て開會する筈なり

●南高同志會　京仁仕住長崎縣南高來郡出身の人々は今回南高同志會なるものを組織し昨日正午より奨忠壇に於て盛大なる親睦會を催したり

●日曜講壇　日の出町京城基督教會にて

は本日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教午後七時半より傳道說教あり參詣隨意にして演題左の如し

心靈の糧（午前）　米澤牧師

希望の基礎（夜）　同　牧師

●日曜講壇　旭町二丁目メソヂスト教會にては本日午前十時禮拜夫れより木原牧師の復活の恩寵と云ふ說教あり午後七時半よりラザロフの更生と云ふ傳道說教あり

●本町座藝題　今回本町座に乘り込みたる新派演劇伊東文夫一座は一昨夜より開演する筈なりしも生憎天候不穩の爲め延期し昨夜より愈よ開場したるが前景氣仲々よく大入なりし尚は本日の替り藝題は一番目『天佑』七場二番目『稚曾我』一幕にて重なる役割は左の如し

社長堀田信厚、工藤左衛門祐經（伊東）副官山口武八（原口）火夫水野省二、御坊の阿闍梨（大山）令孃秀子（桂）水野妻たみち稚兒箱王丸（吉野）役員山の井享、寺侍池田彌十郎（芳川）學僕宮田哲夫、寺侍古川權藏（山路）役員岩淵禮三、工藤祐宗（小泉）機關長大川武濟、役僧覺念坊（新島）憲兵者木諧藏、郎黨近江小藤太（酒本）水野れかじ（北秋）抱車夫仙吉（平野）

又た二十七日（三日目）の替り藝題は一番目喜劇『でれ隣者』二場にて重なる役割は從卒井上勇助、澳法院藪井竹庵（伊東）陸長荒木寛一（原口）次長ちゑ子（原崎）陸軍少佐星武久、ドクトル香駲蜂夫（大山）下女たつぎ、香駲妻ゆた子（桂）是末亡人常子、羽田夫人（吉野）兵卒花井芳三、藥屋老梅堂（芳川）旗手林少尉（山路）憲兵中尉村上五郎、藝妓にやん八（小泉）旅團長秀島少將、羽田高達（秋島）御用商人田藤慶之助（酒本）肴や爲吉、藪井妻貞子　北秋參謀長栗塚中佐、花形蝶二（平野）

廣告

大景品付大賣出し

弊店儀今回トルコ貰商會と代理店の契約仕候に依り其紀念として左記破格の直段にて來る十五日より大景品付大賣出擧行仕候間續々御用命御引立願上候

一Dインペリアル　百本に付九拾錢

一G茶褐色スポート　百本に付九拾五錢

右百本入一箱毎ニ景品券壹葉トス

景品目錄

一壹等　商品券　同　百圓
一貳等　同　參拾圓
一參等　同　貳拾圓
一四等　同　拾圓
一自五等至七等　同　五圓
一自八等至拾等　商品券　同　參圓
一自拾壹等至參拾等　同　貳圓
一自參拾一等至八拾等　同　壹圓
一自八拾一等至百等　同　五拾錢
一其他空籤ナシ

右は公平なる抽籤法を以て即時相渡可申上候也
當店の特色　景品は物品にあらず商品券に付何時にても隨意に御好の品にて差上可申候

京城本町六丁目

代理店　岡野商店

諸衙官用御品調達

營業科目

紙類書籍　印刷附屬品　印刷インキ　防腐デシン　穀物食鹽　織物染料

各學校用品調達

并に

委託販賣

東京　合資會社アライアンス商會代理店
横濱百七六番　ビユームエンドライフ商會代理店
東京　千代田生命保險相互會社代理店
東京　博文館發行書籍特約店
東京　金港堂發行書籍特約店
釜山　臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番
出張所　東京京橋區南鍋町二丁目　電話新橋三九六二

業務擴張廣告

營業科目

◉訴訟鑑定、契約起案、諸會社定欵ノ作成
◉諸願屆書及登記書類ノ代書
◉金錢貸借、土地家屋賣買、電話賣買
◉諸鑛山ノ賣買及測量製圖設計

當事務所從來家屋狹隘の爲各位不便少からず候處今般更に事務所を擴張し最も迅速確實を旨とし御高需を次第依賴に應じ可申候

京城本町一丁目（南部警察署前）

法學士　小川勝平事務所

電話四一番

種苗販賣

果樹蔬菜其他農園藝植林用種販賣代金一圓未滿郵便切手代用差支なし

貸地賣地

○京城南大門外吉野町當會社接續地割貸
○龍山八景園隣地丘ト丘ト割貸
○龍山印刷局前埋立地泉町割貸
○龍山民團役所附近の高地割貸
○龍山靑坡法華寺下松林一口貸地又は賣却
○麻浦電車沿ひ地丼に丘地貸地又は賣却
右何れも景勝便利の地希望の方は御來談を乞ふ

京城南大門外吉野町一丁目

韓國殖産株式會社

電話九一四番
振替貯金番號一三八九〇番

○鑛山探檢鑛物鑑定未墾地及森林山野其他土地家屋等土木工學一般測量製圖設計依賴に應ず

○韓國印紙分賣

京城西大門外漢城府

京城工務所

右取次所

韓國植産株式會社

經濟の親玉

◉夏帽子洗濯

如何程古びたる帽子にても新物同樣になります

洗濯料金九十五錢
バナマ一個ニ付金一圓六十錢
パナマ擬造一個ニ付金三十五錢
八十錢ダスカン一個ニ付金三十錢
五錢より四十五錢まで
白羅紗製一個金九十五錢
臺灣帽子金三十五錢但し現金
早御持參の御方樣には定價の三割引
右は御一報次第直樣店員差向け御用命に可應候

小間物商　京城新町三丁目

遠山商店

工師　遠山與五郎
出張員　菅谷武之助

入院隨意

京城醫院

京城壽町一丁目
電話七四二番

本店　仁川理事廳通（電話三二番）

原金旅館

支店　京城南山町（電話一〇七番）

梅毒にて苦む御方は急ぎ一劑試み給へ速に全治す藥効なき時は返金す

百人百治　濕血丸　價一圓

しつけつがん　よこね、かんそう、ほねうづき、ようばい、そう、りん病、子宮病、じしつ一切、がんがさ、るいれき、たいどく等に特効あり

右藥は米國醫科大學教授博士（マンキリン氏）の明治二十五年十月新發明せられし良劑にして輕きは半廻り重き病は一二週用ゆれば速に全治す此藥は我日本にありふれたる梅毒藥とは異なり服用して決して口中いためず飮食物に禁止なし就業勤務に妨害なし身体衰弱せず頭髮ぬけず養生中他人は勿論家内のものにも知れる世話なく全治する事保證す但一週間分金一圓

▲賣捌き御望の方は御來車あれ
▲到る處の賣藥店にて販賣仕候

調劑本店　大阪　松本快活堂
韓國一手販賣　京城新町　松本儀祐

夏物新着荷大賣出し

空氣呼鈴並に室内電話

斬新流行の洋傘やねくたい其の他歐米雜貨各種荷着致し候間御觀覽旁々當店へ御來店有られん事偏に乞願奉り候敬具

韓國京城本町六丁目

歐米雜貨商

中塚支店

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

三池粉炭

鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應じ可申候

當社一手販賣炭左之通り

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚木洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物産合名會社

京城出張所（電話二十六番）

仁川出張所（電話六十三番）

開業廣告

○內科　○外科　○眼科
○婦人科　○小兒科　○花柳病科

今般左記之處に於て開業致し懇切と叮嚀を旨とし一般患者の診療に應す

京城南大門外御成町

院主　吉田三省

吉田病院

一層業務を擴張し敏腕の事務員數名を增聘し迅速且つ懇切に左の事務を取扱ふ

一民刑訴訟の鑑定及諸般代書事務
一貸金賣掛金等に關する債權取立事務
一鑛山及土地の測量製圖並に出願手續
一會社組合銀行等の顧問

京城本町一丁目

明治法律學校出身

增本好三郎事務所

（電話取次六二四番）

齒科全般の治療

米國最新式義齒

米國齒科醫學博士　女醫　中村安子

京城本町六丁目（藪そば横町）

西洋御料理宴會

日本人倶樂部

京城南山町三丁目電話（一二三番）

小兒科
內科
梅毒科

入院隨意

京城壽町三丁目

阪井病院

（電話二一六番）

梅毒痲病

內科外科

京城南大門外

入院隨意

戸田病院

花柳病專門

龍山老松町

十字病院

院長　帝國醫科大學選科得業　望月憲磨

今般更に眼科部を設け最新式機械を設備し眼科全般の治療をなし又遺憾なきを期す若し夫れ技術巧拙に至つては乞ふ既往の治績に徵せられんことを

拾有八年の實驗
最新學術の應用

京城南山町三丁目

齒科醫術六等

楢崎東陽

（日本人倶樂部向）

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋

京城本町一丁目警察署前

法學士　小川勝平事務所

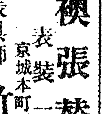
電話四十一番

染物並洗張

迅速叮嚀を旨とし染色艶麗にして確實なるは本工場の特有なり

龍山元町四丁目（元今村跡）

桑澤工場



表裝一切

襖張替

京城本町五丁目

表具師　竹堂

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

京城本町五丁目

漬物問屋　大上商店

（電話二五一番）

●大阪豆腐●

大阪滋養大王豆ソップ

右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候

豆腐木のめでんがく

右は一人前十三錢にて仕出し可仕候

京城旭町壹丁目

中瀨商店

●木の め田樂●

株式會社日本郵船會社

仁川瀛船出帆廣告

電話十番

貨物及船客取扱店

仁川海岸通　郡回漕會

電話三九番

京城南大門通　巴商店

電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行
山東丸　五月十日　後三時出

●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
第一オハヨ號　五月一日　後三時出

釧路丸　日　後三時出

●大連、大沽、牛莊行
高砂丸　五月十四日　後一時出

山東丸　四月廿八日　前五時出

●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　四月廿五日　後一時出

●鎭南浦行
第一オハヨー號　四月廿八日　後三時出

●釜山出帆、元山城津、浦鹽行
弘前丸　五月廿日

御注意

御乘船ノ際ハ稅關波止場マデ本船ヨリ御送迎可申候

御送迎船ニテ約五十分前ニ船解纜ハ本船出帆